

# No.19 北海道・小清水町（地域おこし協力隊の推進）

地域力創造アドバイザー	浦野 宣幸 氏（A712）
活用分野	地域おこし協力隊の推進
活用期間（頻度）	令和7年度～令和10年度（月4回程度）
キーワード	#地域おこし協力隊 #人材育成 #定住 #地域活性化

## 【目的】

人口減少、少子高齢化が進む中、外部から有為な人材を確保し、地域おこし協力隊員がコミュニティを広げながら、主体的に地域を盛り上げ、その上で地域に定住することを目的とする。

## 【内容】

地域おこし協力隊制度の活用において発生する様々な課題に対し、行政職員や隊員、受入事業者の立場を調整し、中立的な目線で課題整理を行い、地域おこし協力隊の全体戦略を構築する。

- ・地域おこし協力隊のニーズの把握及びニーズに対する施策の創出
- ・募集人材の設定、募集プロセスの構築
- ・事業者への説明会の開催
- ・隊員の人材育成（ワークショップなど）
- ・自走に向けた就業場所の特定とKPI・KGIの設定
- ・マネジメント人材の確保

## 【成果（見込み）】

- ・地域の活性化及び地域おこし協力隊の定住率50%



小清水町地域おこし協力隊員

# No.48 福島県・棚倉町（地域の統一的なブランディングの構築）

地域力創造アドバイザー	浦野 宣幸氏（A712）
活用分野	地域資源を活用した官民連携によるまちづくり
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1回程度）
キーワード	# 地域資源の掘り起こし # 地域資源の価値向上 # 地域ブランディング # ブランド戦略 # 地域おこし協力隊

## 【目的】

棚倉町の歴史や自然、文化など地域資源から棚倉町の価値を向上させ、町外からの交流人口の促進を図るため、観光物産協会など地域内団体や外部事業者と連携して地域の魅力の掘り起こしを行い、それらを活用したブランド戦略を企画立案する。またブランドを構築することで、地域内外に向けて統一感とコンセプトを明確にした棚倉町ブランドの情報発信をおこない、地域活性化を実現する。

## 【内容】

- マーケティングデータに基づいた事業構築
- ブランド戦略におけるツーリズムコンセプトの構築
- 地域おこし協力隊募集プロセスの構築
- 棚倉町役場の部署間を横断した情報発信の仕組みの構築
- 棚倉町が連携する外部法人との事業推進への助言・提言

## 【成果（見込み）】

- 福島県観光入込客数のデータを分析
  - ⇒来訪客のニーズなどターゲット分析
  - ⇒来訪客ニーズから地域資源の分析
- 新たなブランドの資料を作成
  - ⇒観光物産協会や地域内団体と連携した統一的なブランド構築
  - ⇒統一的なブランドによるマーケティング施策の構築
- 交流人口の促進を推進
  - ⇒地域おこし協力隊員の募集プロセス資料の作成、メディア展開、採用活動



（アドバイザーによるアドバイス状況）

# No.128 和歌山県・白浜町（地域活性化事業）

地域力創造アドバイザー	浦野 宜幸氏（A712）
活用分野	地域資源を活用した官民連携によるまちづくり
活用期間（頻度）	令和7年度（月4回程度）
キーワード	#地域活性化 #魅力・ブランド発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #他世代交流 #伴走支援 #KPI設定管理 #マーケティング調査・分析・計画の策定 #経営改善 #観光振興 #地域おこし協力隊

## 【目的】

白浜町内にある道の駅志原海岸周辺を中心に、町内の過疎地区である日置川地域独自の魅力や価値を向上させ誘客を図るため、道の駅・スポーツ施設・ジオパークなどを活用したブランド戦略を企画立案する。

さらに、白浜町日置川地域を活動拠点とする日置川町商工会と共に日置川地域のブランドを再構築し、地域内外に向けて統一感とコンセプトを明確にした情報発信をおこない、道の駅事業をはじめとして地域活性化を実現する。

## 【内容】

- ブランド戦略の企画立案（提供価値、KPI設定、マーケティング等）
- 改善計画立案
- 地域推進体制の見直し
- 運営体制の見直し



商品陳列（実験中）の様子

## 【成果（見込み）】

- 地域の認知度の拡大、観光客の流入、道の駅等の経営力の強化を行う（令和7年度の実施内容）
    - ⇒ 白浜町観光施設及び日置川エリアの観光資源を調査し、日置川ブランドの検証と資料を作成
    - ⇒ 全国道の駅事業のヒアリングとビジネスモデルリサーチ、道の駅ビジネスモデル資料を作成
    - ⇒ 地域おこし協力隊の募集から運用までの年間計画の検討及び事業計画書の作成
    - ⇒ 道の駅志原海岸店舗（海来館）の事業戦略を策定
    - ⇒ 道の駅志原海岸店舗（海来館）の管理運営計画・商品・サービス計画の策定
- 今後は、策定した計画を基にマーケティング等を実施していく予定



道の駅志原海岸